

(第1回) 宝塚観劇会

東京宝塚劇場「星組」

アイアン・クラブ 50 周年を迎え、新規企画として 2 月 27 日 (水) 宝塚観劇会を開催しました。昔からの宝塚ファン、久しぶりの宝塚、初めての宝塚、そして今回の出し物を半世紀前の初演で中学生時代に観たご婦人もおられ、66 名の会員の皆様にご参加を頂きました。宝塚 105 周年、星組新年最初の公演は、菊田一夫書下ろしの名作「霧深きエルベのほとり」とスーパーレビュー「ESTRELLAS～エストレージャス、星たち～」の二作品で、華やかなゴージャスな舞台でした。



「霧深きエルベのほとり」は 1963 年の初演以来幾度となく再演された名作で、エルベ河に隣接するハンブルグの港町を舞台にトップスター紅ゆずる扮するカールと娘役トップの綺咲愛里演じるマルギットとの悲恋を綴る切なさ、人情を描いた物語に思わずハンカチを握る観客が多数見られました。乱暴な言動の奥に情に深く人間的魅力に溢れるカールと父親との確執ゆえ家出した名家の可愛い令嬢のトップの二人に好人物フロリアン役の礼真琴が絡み、三人三様の人物が見事に演じられました。驚いたのはプロローグで大階段が使われ、多彩な衣装と踊りでの全員参加に圧倒された衝撃の幕開の演出でした。

お待ちかねのレビューは星組に因み、スペイン語で星々を意味するエストレージャス、「ESTRELLAS～エストレージャス、星たち～」誰もが星の様に光を与えることができる“というテーマのもと生き生きとした歌声、ロックのオリジナル、J-POP、馴染みの洋楽、銀河鉄道の夜と躍動感溢れるダンスが満載、フィナーレは宝



塚ワールドの極み大階段で豪華に華やかに、高揚感と余韻の中に閉幕となりました。

宝塚は 1913 年に「宝塚唱歌隊」が発足、'21 年「花組」と「月組」の 2 組制となり、'24 年に「雪組」' 33 年「星組」、そして' 98 年に「宙組」が誕生して 5 組制となり、これにどの組にも所属しないスペシャリスト集団の「専科」があります。各組 80 名程度のタカラジェ



ンヌで構成され、特色あるお芝居とショーを披露しています。今回「星組」公演にご案内しましたので次回以降は新しい組をご紹介します、年 1～2 回の開催としたいと思います。どうぞご期待ください！

(山田 清實・記)